

山谷 公一 創 新 会

齊藤市政の自己評価は

【問】「私にはプランがあります」と政治公約を掲げて当選し、市政を担当してから7年、2期目も残すところ1年となった。プランからドゥーそしてチエツクの段階。市長の自己評価は。

【答】公約に掲げた内容は、現時点では数値目標に達していないものもあるが、ほぼ全ての項目を実施している。就任以前からの課題等にめどがつき、今後の能力を支える施策に着手できるようになったほか、地域活性化のために、市民と市が協力し合ってまちを変えていこうとする機運が広がっていると考えている。

県北産あきたこまちの食味ランキング

【問】地元のおいしいあきたこまちが、ここ3年「特A」から「A」に格付が下がっている。産地への評価、販路拡大のためには「特A」回復への方針、方向、具体策を示してほしい。

【答】さきに秋田米評価向上研修会が開催され、その研修会の内容等から秋田米の市場シェア拡大のため一層の品質・食味向上を図らなければならないとの認識は、関係者全てが一致していると考えている。地場産米の競争力を高めるための品質・食味向上や、販路拡大の取り組みについて、関係機関と連携の上検討したい。

その他の質問事項

- 新年度予算について、交付税は
- 今冬の大雪で空き家対策条例の必要性
- 高齢者介護の実態

菅原 隆文 よねしろ会

公民館の指定管理者制度導入の真意は

【問】スポーツ施設の指定管理者制度導入時のように、条例整備が整えば速やかに制度導入すべきである。公民館運営審議会での「26年度も導入しない」との発言についての真意は。

【答】この発言は、昨年6月定例会での「提案は説明不足で粗雑であった、拙速であった」などの意見を受け、制度導入に当たっては十分に時間をかけ、市民の理解を得ることがまずは一番大切であり、25年度もその説明期間と考えたことから、26年度当初の導入には間に合わないのではないかとの思いに基づいたものである。

豪雪対策、排雪のためロータリー車購入を

【問】高齢化の進んだ当市では、今冬のような豪雪対策として、除雪だけでなく排雪が重要。全市的な排雪対策のため、車道対応のロータリー車を複数購入して、市民生活を守るべき。

【答】ロータリー除雪車は現在、市が能代地域3台、二ツ井地域4台、市内の委託業者が4台保有している。今冬の排雪作業では現状の台数で効率よく行われたが、近年の気候状況やローダーの入れない小路の除雪要望に対応するためには、今後ますます必要になると思われるので、購入について検討していきたい。

その他の質問事項

- 市長部局と教育部の連携は良好か
- 除排雪の実情と市民要望への対応
- 応接室と市長室は新庁舎に整備を

畠 貞一郎 市民連合

社会資本の現状とメンテナンス

【問】高度成長期に進められたインフラは50年余が経過し、3・11大震災においても全国的に大きな被害が出た。今後の調査で、陥没リスクの診断にシオ・サーチ社を使つては。

【答】市道陥没の主原因は下水道管等地下埋設物の老朽化による破損であり、耐用年数50年を経過した下水道管の目視及び自走式テレビカメラによる調査、超音波肉厚調査やX線透過調査等による水道管の老朽度調査をする予定である。道路陥没につながる空洞化の調査は他市の実施状況や費用対効果等について研究していく。

再生可能エネルギービジョン

【問】筑波大渡邊信教授が発見したオーランチオキトリウムは、石油をつくる新しいエネルギーとして注目されている。仙台市でも実証実験が始まっているが、当市の農地ではどうか。

【答】耕作放棄地等、農地での培養を考えた場合、餌となる有機物や増殖の妨げとなる他の菌類の進入などの課題のほか、農地に係る法的規制の整備の課題がある。さらに、低コストでの油生成技術の確立など、実用化に向けた課題も多く、今後、課題の解決の道筋や実用化へのめどなどを注視しながら、導入について研究したい。

その他の質問事項

- イオン出店問題